令和７年度　日本大学自主創造プロジェクト

日大生のやってみたいを実現するプロジェクト成果報告書

２０２５０２４

プロジェクト名：自分たちの欲しい化粧品を作ろう！

プロジェクトの概要

本プロジェクトでは、１年の大半をキャンパスで過ごす理系女子大学生が主体となり、授業中や自習室、日常生活の中でも周囲を気にせず使えるロールオンタイプのリフレッシュ製品を開発しました。学生の「集中力が続かない」「気軽に気分転換がしたい」などの悩みを解決するため、利用者の視点を踏まえて取り組みました。香りや清涼感、肌への刺激などについて科学的に検討し、理系ならではの視点で試行錯誤を重ね“自分たちの欲しい！”を形にしました。

プロジェクトの結果・成果

本プロジェクトを通して、勉強中や自習室、日常生活にて使えるリフレッシュを目的としたロールオンタイプの香水を開発しました。周囲に気を使わずに使用できる香りの強さや清涼感、肌への刺激などに配慮しながら試作、改良を重ねて完成度を高めました。また、持ち運びやすさやゴミをださないなどを意識した容器の選定から、手に取ってもらう容器やパッケージのデザイン制作し、製品全体としての統一感を追求しました。その成果として、学生生活の中で実際に使用できる実用性とともに、販売可能なレベルまで仕上げることができました。

また、本プロジェクトの成果は、単にリフレッシュ製品の完成にとどまらず、学生の発想と理系的思考を具体的な形として社会に提示できた点にあります。自分たちの欲しいという学生ならではの発想を生かした商品提案から始まり、身近な悩みを課題として認め、それについての解決策を試行錯誤する過程を通して「アイデアを製品として形にする力」を実践的に養うことができました。また、感覚的になりやすい香りや清涼感、使用感に関しても、主観だけに頼らず客観的な視点からの検討、参加学生での話し合いを重ねたことで、理系ならではの論理性を保ちながら改良を進めることができました。

さらに、本活動は「学生が自ら考え、形にする」ことの可能性を示す取り組みとなりました。既存の商品を選ぶのではなく、自分たちの日常に必要なものを見極め、それを具体化する経験は、今後の研究活動や将来の進路選択にも通じる学びとなりました。また、完成品は今後学内での配布や購買での販売を通して学生の手に取ってもらうことを計画するとともに、さらに改良を重ねて新たな欲しい化粧品を開発していくつもりです。

活動写真





